

## 健康診査に一致した月齢、年齢別安全チェックリスト の作成と指導ポイントの検討

(分担研究：小児の事故とその予防に関する研究)

田中哲郎

**要約：**安全チェックリストを使用した事故防止指導が検討の結果有用であることがすでに明らかにされている。わが国で作成された安全チェックリストは乳児用、幼児用の2種類であったが、事故防止効果を更に上げるためには健診毎に繰り返し指導する必要があると考えられるため、健診スケジュールに合った安全チェックリストを検討し、試案を作成した。また、安全チェックの項目毎に指導の際のポイントについても検討を行った。今回作成した安全チェックリストにより健診毎に安全チェックリストを使用し、小児の事故防止のための指導が可能となった。

**見出し語：**安全チェックリスト、事故、事故防止、保健指導、健康診査

はじめに

保護者への事故防止のための指導に際しては、安全チェックリストを使用する方法が米国小児科学会で考案され利用されている<sup>1)</sup>。わが国においても、本研究班で試案を作成<sup>2)</sup>し、和歌山県御坊保健所、静岡県沼津市、焼津市などで実際に利用されている<sup>3)</sup>。

その効果についても、御坊保健所の検討で6か月健診でこれを用いて事故防止指導した群では、指導しなかった群に比べ、有意に事故が減少したと報告されている<sup>4)</sup>。

今までの安全チェックリストは乳児用（6か月健診用）、幼児用（主に1歳6か月健診用）の2種類

であった。しかし、事故防止の保健指導は1回の指導だけでは十分な効果が上がらないことも考えられること、月齢、年齢により発生する事故も異なり、指導するポイントも違うことより標準的な各健診月齢、年齢別の安全チェックリストを作成し、更に効果的な事故防止の指導が可能となるように務めた。また、その際の指導ポイントについても検討した。

作成した安全チェックリストは以下の11種類とした。

- 1か月健康診査用安全チェックリスト
- 3～4か月健康診査用安全チェックリスト
- 6～7か月健康診査用安全チェックリスト

東京医科大学八王子医療センター

(Tokyo Medical College Hachioji Medical Center)

○9～10か月健康診査用安全チェックリスト

○3歳健康診査用安全チェックリスト

○1歳健康診査用安全チェックリスト

○4歳健康診査用安全チェックリスト

○1歳6か月健康診査用安全チェックリスト

○5歳健康診査用安全チェックリスト

○2歳健康診査用安全チェックリスト

○6歳健康診査用安全チェックリスト

| 《1ヵ月健康診査》                                       |     |      |      |
|---|-----|------|------|
| 1.家に赤ちゃんを一人置いて出かける<br>けることがありますか。               | な い | ときどき | よくある |
| 2.火災や地震の際、赤ちゃんの避難方<br>法を考えていますか。                | は い |      | いいえ  |
| 3.ベビーベッドの安全を確認しまし<br>たか。                        | は い |      | いいえ  |
| 4.赤ちゃんから目を離す時、ベビー<br>ベッドの柵をいつも上げていますか。          | は い |      | いいえ  |
| 5.赤ちゃんに柔らかい枕や布団を使用<br>していますか。                   | いいえ |      | は い  |
| 6.赤ちゃんの首にお守りをかけたり、<br>細い紐をベッドの中に入れていま<br>すか。    | いいえ | ときどき | は い  |
| 7.赤ちゃんを抱いているとき、熱いも<br>のを飲んだりタバコを吸うことがあ<br>りますか。 | な い | ときどき | よくある |
| 8.専用の小児用シートベルト付き座席<br>を準備しましたか。                 | は い |      | いいえ  |
| 9.車の中に赤ちゃんを一人で乗せてお<br>くことがありますか。                | な い | ときどき | よくある |

〔指導のポイント〕

1 (基本)

- ・赤ちゃんは自分自身で身の安全を守れないので、保護者の気配りが必要である。
- ・たとえ寝ていても赤ちゃんを家の中に一人しておかない。
- ・ごく短時間でも目を離す時は、柵付きのベッドに入れ柵を上げておく。

2 (基本)

- ・赤ちゃんが寝ている所に落下物になるようなものがないか確認する。
- ・常に安全な避難経路の確保を行う。

3 (基本)

- ・ベビー用品を使用する前に必ず安全を点検する。
- ・危険な箇所があれば補修または交換する。
- ・ベッドなどを選ぶ場合には、Sマーク、SGマークのついているものを選ぶ。

4 (転落)

- ・ベッドに寝かせたまま目を離すときは、必ず柵を上げる。

5 (窒息)

- ・頭や顔が埋まらない程度の固さの枕や布団を使用する。
- ・ベッドにあった大きさのマットや布団を使用する。
- ・ベッドとマットの間に指が2本以上入る隙間には、タオルを巻いたものなどで調節する。

6 (窒息)

- ・赤ちゃんの首にはお守りなどをつけない。
- ・ベッドの中には細いひもやビニール袋を入れない。

7 (やけど)

- ・赤ちゃんを抱きながら熱いものを扱わない。

8 (交通事故)

- ・車に乗る時は年齢にあった小児用シートベルト付き座席を使用する。
- ・JISマークや運輸省の認定マークを目安に、小児用シートベルト付き座席を選ぶ。
- ・子どもを乗せているときは安全運転に気をつける。

9 (交通事故)

- ・たとえ数分間でも子どもだけを車の中に乗せておかない。

| 《3~4ヵ月健康診査》                              |                  |                   |      |
|--|------------------|-------------------|------|
| 1. ベビー用品を購入するとき、安全を確認しましたか。              | は い              |                   | いいえ  |
| 2. おもちゃの安全に注意していますか。                     | は い              |                   | いいえ  |
| 3. テーブル、ソファなどの上に赤ちゃんを寝かせたまま目を離すことがありますか。 | な い              | ときどき              | よくある |
| 4. ベットの柵は必ず上げていますか。                      | は い              | ときどき<br>(使用していない) | いいえ  |
| 5. 赤ちゃんの回りに口の中に入るような小物を置いていますか。          | いいえ              | ときどき              | は い  |
| 6. 赤ちゃんの回りに細い紐やビニール袋を置いていますか。            | いいえ              | ときどき              | は い  |
| 7. 赤ちゃんを抱きながら、熱いものを食べたり飲んだりしていますか。       | いいえ              | ときどき              | は い  |
| 8. 入浴の際、蛇口から急に熱いお湯が出ることがありますか。           | な い              | ときどき              | よくある |
| 9. 赤ちゃんを抱いて車に乗ることがありますか。                 | は い<br>(車は使用しない) |                   | いいえ  |

[指導のポイント]

1 (基本)

- ・ベビー用品は安全性を確認し、Sマーク、SGマークのついたものを選ぶ。
- ・赤ちゃんの月齢や使用目的に合わせて購入する。

2 (基本)

- ・子どもの発達段階に応じたものを選ぶ。
- ・STマークがついていても危険がないかどうか十分点検する。

3 (転落)

- ・子どもは動くものだとすることを忘れずに。
- ・段差のあるところに子どもを寝かすときは目を離さないようにする。

4 (転落)

- ・赤ちゃんを寝かせベットから離れるときは柵をきちんと上げておく。

5 (窒息)

- ・部屋の中の小物を整理する。
- ・自分の家だけではなく、実家やよその家に外出したときにも注意する。
- ・タバコや灰皿は赤ちゃんの手の届かないところへ置く。

6 (窒息)

- ・ベットの中には細いひもやビニール袋を入れない。

7 (やけど)

- ・赤ちゃんを抱いているときは熱いものを扱わない。

8 (やけど)

- ・蛇口から熱いお湯が出ていないか注意する。
- ・入浴前に湯加減をチェックする。

#### 9 (交通事故)

- ・年齢にあった小児用シートベルト付き座席を選ぶ。
- ・運転者以外に大人がいて子どもを車に乗せるときは、できるだけ後部座席に小児用シートベルト付き座席を設置し、正しい方法で固定する。
- ・子どものための適切な安全装置（チャイルドシート）を取付け安心して運転する。

#### 《6～7ヵ月健康診査》

|                                       |     |         |      |
|---------------------------------------|-----|---------|------|
| 1.子どもだけおいて家を留守にするこ<br>とがありますか。        | な い | ときどき    | よくある |
| 2.階段に転落防止の柵を用意しました<br>か。              | は い | (階段なし)  | いいえ  |
| 3.子ども用の椅子は安定のよいものを<br>使用していますか。       | は い | (使用しない) | いいえ  |
| 4.赤ちゃんの回りにボタンや硬貨、指<br>輪などの小物を置いていますか。 | いいえ | ときどき    | は い  |
| 5.赤ちゃんの手の届くところにビニー<br>ル袋や風船などがありますか。  | いいえ | ときどき    | は い  |
| 6.熱湯などを取り扱うとき、赤ちゃん<br>に注意していますか。      | は い | ときどき    | いいえ  |
| 7.赤ちゃんをストーブやヒーターの側<br>に寝かせていますか。      | いいえ | ときどき    | は い  |
| 8.赤ちゃんの手の届く所に尖ったもの<br>がありますか。         | な い | ときどき    | は い  |
| 9.浴室での溺水対策を考えていますか。                   | は い |         | いいえ  |

#### 〔指導のポイント〕

##### 1 (基本)

- ・たとえ寝ていても赤ちゃんを家の中に一人にしておかない。
- ・ごく短時間でも目を離す時は、柵付きのベットの入れ柵を上げておく。

##### 2 (転落)

- ・乳幼児が転落することがないように玄関や階段口などに柵を取付ける。
- ・ベビーフェンスはSGマークのついているものを選ぶ。

##### 3 (転落)

- ・SGマークのあるものを選ぶ。
- ・脚がしっかりしていて、座るところが広く安定のよいものを使用する。
- ・子どもを座らせたら必ず安全ベルトをする。
- ・乳幼児を一人で座らせたまま側を離れない。

##### 4 (窒息)

- ・部屋の中の小物を整理する。
- ・行動範囲の中に誤飲されるようなものを置かない。
- ・自分の家だけでなく、外出したときにも注意が必要。

##### 5 (窒息)

- ・ビニール袋や風船など子どもの手の届くところに置かない。

##### 6 (やけど)

- ・熱湯や熱いものを持って移動するときは、子供の位置を確認する。

##### 7 (やけど)

- ・暖房器具と赤ちゃんの距離を離す。
- ・暖房器具に直接触れないようにする。

## 8 (打撲・外傷)

- ・回りを確認してから赤ちゃんを座らせる。
- ・固い積み木などのおもちゃにも注意する。
- ・尖った角のある家具には、安全グッツやクッションでカバーする。

## 9 (交通事故)

- ・子どもが小さいうちは浴槽の中に水を残しておかない。
- ・浴室に入れないように外鍵を設置する。

| 《9～10ヵ月健康診査》                          |                 |      |     |
|---------------------------------------|-----------------|------|-----|
| 1.階段に転落防止のための柵を取り付けましたか。              | はい<br>(階段なし)    |      | いいえ |
| 2.玄関など段差のあるところには落ちような対策がしてありますか。      | はい              |      | いいえ |
| 3.ピーナッツや飴玉など赤ちゃんの手の届かない所に置いていますか。     | はい              | ときどき | いいえ |
| 4.タバコ、灰皿は赤ちゃんの手の届かない所に置いていますか。        | はい              | ときどき | いいえ |
| 5.食卓にテーブルクロスを使用していますか。                | いいえ             | ときどき | はい  |
| 6.ストーブ、ヒーターなど熱い所に赤ちゃんが触れないようにしてありますか。 | はい              | ときどき | いいえ |
| 7.入浴後、浴槽に水をためておくことがありますか。             | ない              | ときどき | ある  |
| 8.入浴中赤ちゃんを一人にして目を離すことがありますか。          | ない              | ときどき | ある  |
| 9.角の尖った家具が赤ちゃんの近くにありますか。              | ない              |      | ある  |
| 10.自動車に乗るとき、小児用安全シートを使っていますか。         | はい<br>(車は使用しない) | ときどき | いいえ |

### 〔指導のポイント〕

#### 1 (転落)

- ・目を離す時は、階段に柵をする。
- ・ベビーフェンスはSGマークのついているものを選ぶ。

#### 2 (転落)

- ・転落の危険のある場所には柵を設置する。
- ・子どもが立ち入らないようにドアなどに鍵をする。

#### 3 (窒息)

- ・ピーナッツ、飴玉などは赤ちゃんには与えない。

#### 4 (誤飲)

- ・タバコや灰皿は必ず手の届かない所に置く。
- ・ジュースの缶を灰皿代わりに使わない。

#### 5 (やけど)

- ・小さい子どものいる家庭ではテーブルの縁から垂れ下がるようなテーブルクロスは使用しない。

#### 6 (やけど)

- ・暖房器具に直接触れないよう安全柵をする。

#### 7 (溺水)

- ・子どもが小さいうちは浴槽の中に水を残しておかない。
- ・浴室に入れないように外鍵を設置する。

8 (溺水)

- ・入浴中は一時でも子どもを一人にしたり、目を離さない。

9 (打撲・外傷)

- ・角の尖った家具や硬いものがないかをチェックする。
- ・危険な箇所には安全グッズやクッションを置きカバーする。

10 (交通事故)

- ・運転中は必ずチャイルドシートで固定する。
- ・月齢または体重にあったものを使用する。
- ・子どもを乗せているときは安全運転に気をつける。

| 《1歳健康診》                                   |     |      |     |
|---|-----|------|-----|
| 1.階段に転落防止の対策がしてありますか。                     | は い |      | いいえ |
| 2.テラスや窓の側に踏み台となるような物がありますか。               | な い |      | あ る |
| 3.ドアがバタンと閉まらないような対策をしていますか。               | は い |      | いいえ |
| 4.カミソリ・ナイフ・はさみなど子どもの手の届かない所に置いていますか。      | は い | ときどき | いいえ |
| 5.薬、タバコ、化粧品、洗剤など子どもの手の届かない所に置いていますか。      | は い | ときどき | いいえ |
| 6.テーブルクロスを使用していますか。                       | は い |      | いいえ |
| 7.テーブルの上の熱い飲み物、食べ物は子どもの手の届かない所に置いていますか。   | いいえ | ときどき | は い |
| 8.ストーブ、アイロン、ポット、鍋などやけどの原因となるものに気をつけていますか。 | は い | ときどき | いいえ |
| 9.入浴後、浴槽に水をためておくことがありますか。                 | な い | ときどき | あ る |
| 10.子どもが一人で浴室に入ることがありますか。                  | な い | ときどき | あ る |

〔指導のポイント〕

1 (転落)

- ・階段には登り口、降り口に柵をつけ、子どもが一人で階段の中に入れないようにする。
- ・階段に手すりをつける。
- ・カーペットの種類や取り付けに注意し、木製階段には滑り止めをつける。
- ・子どもを抱いて階段を登り降りをする時は、ゆっくり十分に気をつけ他に荷物など持たない。

2 (転落)

- ・踏み台となるようなエアコンの室外器、古新聞などは置かない。
- ・窓の側にソファや机を置かない。
- ・テラスは転落の危険がないか十分にチェックする。

3 (打撲・外傷)

- ・開け放しにするときはドアが風などで急に閉まらないような金具(ドアクローザー)、ストッパー、砂袋などを使う。
- ・丁番側の隙間などに手をかけないように注意する。

4 (打撲・外傷)

- ・カミソリ、はさみなどは子どもの手の届くところに置かない。

5 (誤飲)

- ・薬、タバコ、化粧品、洗剤などの収納スペースを確保し、保管をしっかりとる。
- ・不必要になった空ビン、医薬品は捨てる。

6 (やけど)

- ・テーブルの縁から垂れ下がるようなテーブルクロスは使用しない。

7 (やけど)

- ・熱い飲み物、食べ物には目を離さない。
- ・食事の時は子どもの手の届く所に熱いものを置かない。

8 (やけど)

- ・アイロンはできるだけ子どもが寝ている間にかけるようにする。
- ・ポットや炊飯器の蒸気の出口での熱傷が多いので、子どもの手の届かない所に置く。
- ・ストーブの熱源には直接触れられないように柵などで囲う。

9 (溺水)

- ・子どもが小さいうちは浴槽の中に水を残しておかない。
- ・お風呂の蓋はたわまない、滑らないしっかりしたものを選ぶ。

10 (溺水)

- ・子どもが容易に浴室にはいれないように外鍵をつける。
- ・入浴時は一時でも子どもを一人にしたり、目を離さない。

| 《1歳6ヵ月健康診査》                            |           |      |     |
|--|-----------|------|-----|
| 1. 階段に転落防止のための柵を使用していますか。              | は い       |      | いいえ |
| 2. テラスや窓の側に踏み台となるような物を置いていますか。         | いいえ       | ときどき | は い |
| 3. 子どもの口に入るような小物を置いていますか。              | いいえ       | ときどき | は い |
| 4. 家族の薬は子どもの手の届かない所に置いていますか。           | は い       | ときどき | いいえ |
| 5. 子どもの手の届く食卓に熱い物を置いていますか。             | いいえ       | ときどき | は い |
| 6. ストーブ、ヒーターなどの熱い所に子どもが触れないようにしてありますか。 | は い       |      | いいえ |
| 7. 入浴後浴槽に水をためておくことがありますか。              | な い       | ときどき | あ る |
| 8. 子どもが一人で浴室に入ることがありますか。               | な い       | ときどき | あ る |
| 9. 小児用安全シートを使用していますか。                  | は い       | ときどき | いいえ |
|  | (車は使用しない) |      |     |
| 10. 自動車の中に子どもを一人にしておくことがありますか。         | いいえ       | ときどき | は い |
|  | (車は使用しない) |      |     |

〔指導のポイント〕

1 (転落)

- ・階段の柵はいつもしめておく。
- ・階段の側で遊ばせない。
- ・階段の登り降りの際は必ず大人が手をつなぐか下側を登り降りする。

2 (転落)

- ・踏み台になるようなエアコンの室外器、古新聞などは置かない。
- ・窓の側にソファーや机を置かない。
- ・テラスの柵など安全を十分にチェックする。

3 (窒息)

- ・部屋の中を散らかさない。
- ・口の中に物を入れないように注意する。
- ・行動範囲の中には誤飲されるようなものを置かない。
- ・自分の家だけではなく、外出したときにも注意が必要である。

4 (誤飲)

- ・大人は薬を飲んだ後、必ず子どもの手の届かない所にしまう。

5 (やけど)

- ・熱い飲み物、食べ物は目を離さない。
- ・食卓に子どもを近づけない。
- ・食卓の手の届く所に熱いものを置かない。

6 (やけど)

- ・暖房器具に直接触れないよう安全柵をする。
- ・子どもの手の届かない場所に暖房器具を置く。
- ・ストーブの上にヤカンなどは置かない。

7 (溺水)

- ・子どもが小さいうちは浴槽の中に水を残しておかない。
- ・お風呂の蓋はたわまない、滑らないしっかりしたものを選ぶ。

8 (溺水)

- ・子どもが容易に浴室に入れないように外鍵をつける。
- ・入浴中は一時でも子どもを一人にしたり、目を離さない。

9 (交通事故)

- ・走行中は必ず小児用シートベルトつき座席で固定する。
- ・子どもが窓やサンルーフより顔や頭を出さないようにする。
- ・ドアロックを必ず閉め、子どもがいたずらをしてでもドアが開かないようにする。

10 (交通事故)

- ・たとえ数分間でも車の中に子どもだけを残さない。

《2歳健康診査》

|                                      |     |      |     |
|--------------------------------------|-----|------|-----|
| 1.子どもを家や車の中に一人にするこ<br>とがありますか。       | いいえ | ときどき | はい  |
| 2.ドアがバタンと閉まらないような対<br>策をしていますか。      | はい  |      | いいえ |
| 3.滑り台やブランコに乗る時、側にい<br>て子どもを見えていますか。  | はい  | ときどき | いいえ |
| 4.ベランダや窓の側に踏み台となるよ<br>うな物が置いてありますか。  | いいえ |      | はい  |
| 5.階段に転落防止のための柵を使用し<br>ていますか。         | はい  |      | いいえ |
| 6.階段の登り降りは、大人がいつも子<br>どもの下側を歩いていますか。 | はい  |      | いいえ |
| 7.おもちゃを口の中に入れて遊んでい<br>ることがありますか。     | いいえ |      | はい  |
| 8.子どもが一人で浴室に入ることがあ<br>りますか。          | ない  |      | ある  |
| 9.湯おね、子ども用プールなど子ども<br>だけで遊ばせていますか。   | いいえ | ときどき | はい  |
| 10.子どもと自転車に相乗りしますか。                  | いいえ | ときどき | はい  |



〔指導のポイント〕

1 (基本)

- ・たとえ寝ていても子どもを家の中に一人にしておかない。
- ・たとえ数分間でも車の中に子どもだけを残さない。

2 (打撲・外傷)

- ・開け放しにする時は風などで急にドアが閉まらないような金具（ドアクローザー）、ストッパー、砂袋などを使用する。
- ・丁番側の隙間などに手をかけないように教える。
- ・ドアを勢いよく閉めない。

3 (転落)

- ・遊具で遊んでいる時、子どもの側を離れない。
- ・子どもの年齢や能力にあった遊具を選び、遊び方のルールを身につけさせる。
- ・公園内ではガラスの破片、空き缶、びんなどが遊具の回りに落ちていないか点検する。

4 (転落)

- ・踏み台となるようなエアコンの室外器、古新聞などは置かない。
- ・窓の側にソファーや机を置かない。
- ・ベランダでの一人遊びはさせない。

5 (転落)

- ・階段の柵はいつも閉めておく。
- ・階段の側で遊ばせない。
- ・柵に登ったりしないように注意する。

6 (転落)

- ・階段を登り降りする際は、転んでも支えられるように、大人は手を取ったり、下側を歩くようにする。
- ・階段はゆっくり登り降りする。

7 (誤飲)

- ・子どもの発育段階に応じて安全なおもちゃを与える。
- ・子どもはおもちゃ本来の目的以外の危険な使い方をすることもあり、時々遊んでいるところを観察する。

8 (溺水)

- ・子どもが容易に浴室に入れないように外鍵をつける。
- ・入浴中は一時でも子どもを一人にしたり目を離さないこと。

9 (溺水)

- ・風呂場で子どもだけで遊ばせないようにする。
- ・水遊びをするときは目を離さない。

10 (交通事故)

- ・「自転車用幼児座席」も安全なものを選ぶ。（SGマークを目安に）
- ・幼児席に乗せるときは、正しい姿勢かどうか確かめる。
- ・足の位置に注意し、裸足は避ける。
- ・幼児席に幼児を乗せたまま、自転車から離れない。

《3歳健康診査》

|                                    |                     |     |
|------------------------------------|---------------------|-----|
| 1.子どもが遊んでいる時、回りの安全を確認していますか。       | は い                 | いいえ |
| 2.滑り台やブランコの正しい乗り方を教えていますか。         | は い                 | いいえ |
| 3.窓やテラスからの転落に注意していますか。             | は い                 | いいえ |
| 4.階段では転落防止のための柵を使用し、登り降りの際は、大人が下側を | は い ときどき<br>(階段はない) | いいえ |

|                                       |     |      |     |
|---------------------------------------|-----|------|-----|
| 歩いていますか。                              |     |      |     |
| 5.子どもが一人で浴室にはいることがありますか。              | いいえ |      | はい  |
| 6.カミソリ、ナイフ、はさみなどを子どもの手の届かない所に置いていますか。 | はい  | ときどき | いいえ |
| 7.ドアがボタンと閉まらないような対策をしていますか。           | はい  |      | いいえ |
| 8.道を歩くとき、子どもと手をつないで歩いていますか。           | はい  | ときどき | いいえ |
| 9.子どもと自転車に相乗りしますか。                    | いいえ | ときどき | いいえ |
| 10.三輪車の安全な乗り方を教えていますか。                | はい  | ときどき | いいえ |

〔指導のポイント〕

1 (基本)

- ・子どもの年齢や能力にあった遊具を選び、遊び方のルールを身につけさせる。
- ・保護者が自分の目で子どもの安全を確認する。

2 (転落)

- ・正しい遊び方を指導する。
- ・遊びのルールを決め、守らせるようにする。

3 (転落)

- ・ベランダの柵は子どもが登れないよう足掛かりのない縦格子の高さ（110cm以上）か確かめる。
- ・格子の間隔も子どもの頭が入らないよう8.5cm以内か確かめる。
- ・踏み台となるようなエアコンの室外器、古新聞などは置かない。

4 (転落)

- ・階段の柵は常に閉めておく。
- ・階段のそばで遊ばせない。
- ・階段を登り降りする際は、転んでも支えられるよう大人は手を取ったり、下側を歩くようにする。

5 (溺水)

- ・浴室では子どもだけで遊ばせないようにする。
- ・水遊びをするときは目を離さない。

6 (打撲・外傷)

- ・カミソリ、はさみなどは子どもの手の届く所に置かない。

7 (打撲・外傷)

- ・開け放しにする時は風などで急にドアが閉まらないような金具（ドアクローザー）、ストッパー、砂袋などを使用する。
- ・丁番側の隙間などに子どもが手を入れないように教える。

8 (交通事故)

- ・道を歩くときは必ず手をつなぎ、子どもは道路の外側を歩かせる。
- ・道路を渡るときは必ず横断歩道を渡る。
- ・交通ルールを繰り返し教える。

9 (交通事故)

- ・「自転車用幼児座席」も安全なものを選ぶ。（SGマークを目安に）
- ・幼児席に乗せるときは正しい姿勢かどうか確かめる。
- ・足の位置に注意し、裸足は避ける。
- ・幼児席に幼児を乗せたまま、自転車から離れない。

10 (交通事故)

- ・始めて三輪車に乗るときは大人が付き添い、使い方や注意を十分に説明する。
- ・二人乗りや後押しはやらない。

- ・車の来るところでは乗らない。
- ・坂道では乗らない。

| 《4歳健康診査》                              |                  |     |
|---------------------------------------|------------------|-----|
| 1.子どもの遊び場やおもちゃの安全について注意していますか。        | は い              | いいえ |
| 2.窓やテラスからの転落に注意していますか。                | は い              | いいえ |
| 3.テーブルの上の熱い飲み物、食べ物に注意していますか。          | は い              | いいえ |
| 4.子どもだけで花火をすることがありますか。                | いいえ              | は い |
| 5.子どもだけで川や池に遊びに行くことがありますか。            | な い              | あ る |
| 6.道路で遊ばないように注意していますか。                 | いつも              | いいえ |
| 7.車を運転する前にドアやパワーウィンドをロックしますか。         | は い<br>(車は使用しない) | いいえ |
| 8.車の中では小児用安全シートを使用し、ふざけないように注意していますか。 | は い<br>(車は使用しない) | いいえ |

[指導のポイント]

- 1 (基本)
  - ・子どもの年齢や能力にあった遊具を選び、遊び方のルールを身につけさせる。
  - ・おもちゃは購入時だけでなく、常に安全点検をしてから使用する。
- 2 (転落)
  - ・テラスの柵は子どもが登れないよう足掛かりのない縦格子の高さが1m10cm以上あるか点検する。
  - ・踏み台になるようなエアコンの室外器、古新聞などは置かない。
- 3 (やけど)
  - ・熱い飲み物、食べ物には保護者が十分に注意をする。
  - ・食事の時は子どもの手の届く範囲に、熱いものを置かないようにする。
- 4 (やけど)
  - ・花火に書いてある“注意書き”表示をよく読む。
  - ・たくさんの花火に一度に火をつけない。
  - ・子どもだけで遊ばせない。
  - ・バケツ一杯の水を準備しておく。
- 5 (溺水)
  - ・子どもだけで川や池、用水路には行かせない。
  - ・水の事故の恐ろしさや、安全な歩行の仕方を教える。
- 6 (交通事故)
  - ・子どもを道路で遊ばせない。
  - ・常に交通ルールを教える。
- 7 (交通事故)
  - ・常にドアはロックする。
  - ・窓やサンルーフから腕や頭を出さないように教える。
  - ・ドアを閉めるとき指をはさまれないように教える。
  - ・たとえ駐車中でも、子どもに運転装置など触らせない。
- 8 (交通事故)
  - ・走行中は必ず小児用のシートベルト付き座席で固定する。

- ・運転中は子どもが大声を出したり、騒いだりして運転手が気をとられるようなことはさせない。

#### 《5歳健康診査》

|                                    |     |     |
|------------------------------------|-----|-----|
| 1. 子どもの遊び場やおもちゃの安全について注意していますか。    | は い | いいえ |
| 2. ブランコ、滑り台、鉄棒など遊具の正しい遊び方を教えていますか。 | は い | いいえ |
| 3. 子どもだけで川や池に遊びに行くことがありますか。        | な い | あ る |
| 4. マッチやライターなどで火遊びをしないように注意をしていますか。 | は い | いいえ |
| 5. 熱いものを扱う時、子どもの位置を確認していますか。       | は い | いいえ |
| 6. 縄とびやひもを首にかけて遊んでいますか。            | いいえ | は い |
| 7. 道路を歩く時、子どもに信号の見方や交通ルールを教えていますか。 | は い | いいえ |
| 8. 道路で三輪車や補助輪付き自転車で遊んでいますか。        | いいえ | は い |

#### 〔指導のポイント〕

##### 1 (基本)

- ・子どもの年齢や能力にあった遊具を選び、遊び方のルールを身につけさせる。
- ・おもちゃは購入時だけでなく、常に安全点検をしてから使用させる。

##### 2 (基本)

- ・ルールを決めて遊ぶ
- ・公園では保護者と一緒に遊ぶようにする。

##### 3 (基本)

- ・子どもだけで川や池、用水路には行かせない。
- ・水の事故の恐ろしさや、安全な歩行の仕方を教える。

##### 4 (やけど)

- ・マッチやライターを子どもの手の届く所に置かない。
- ・火の恐さを教える。

##### 5 (やけど)

- ・熱湯や熱いものをもって移動するときは子どもの位置を確認する。

##### 6 (窒息)

- ・滑り台やジャングルジムなど遊具に乗るときは手におもちゃを持たない。
- ・縄とびやひもを首にかけて遊ばない。

##### 7 (交通事故)

- ・道を歩く時は必ず手をつなぎ、子どもは道路の歩道側を歩かせる。
- ・道路を渡るときは必ず横断歩道を渡る。

##### 8 (交通事故)

- ・車の通るところでは自転車や三輪車で遊ばない。
- ・交通ルールをしっかり教える。
- ・自転車に乗る際ヘルメットを着用することが望ましい。

#### 《6歳健康診査》

|                                 |     |     |
|---------------------------------|-----|-----|
| 1. 子どもの遊び場やおもちゃの安全について注意していますか。 | は い | いいえ |
| 2. ジャングルジム、ブランコ、うんて             | いいえ | は い |

|                                   |     |     |
|-----------------------------------|-----|-----|
| いなどの遊具から飛び降りて遊んでいますか。             |     |     |
| 3.子どもだけで川や池に遊びに行くことがありますか。        | は い | いいえ |
| 4.火遊びをしていますか。                     | いいえ | は い |
| 5.子どもだけで花火をしていますか。                | いいえ | は い |
| 6.道路でボール遊びをしていますか。                | いいえ | は い |
| 7.交通量の多いところで補助付き自転車などで遊んでいますか。    | いいえ | は い |
| 8.道路を歩く時、子どもに信号の見方や交通ルールを教えてください。 | は い | いいえ |

〔指導のポイント〕

1 (基本)

- ・子どもの年齢や能力にあった遊具を選び、遊び方のルールを身につけさせる。
- ・おもちゃは購入時だけでなく、常に安全点検をしてから使用させる。

2 (転落)

- ・遊びに適した服装をする。
- ・空き缶、びん、ガラスの破片などが落ちていないか、遊具の周りが安全であるか点検する。

3 (溺水)

- ・子どもだけで川や池、用水路には行かせない。
- ・水の事故の恐ろしさや、安全な歩行の仕方を教える。

4 (やけど)

- ・マッチやライターを子どもの手の届く所に置かない。
- ・火の恐さを教える。
- ・ガスの元栓は閉めておく。

5 (やけど)

- ・花火に書いてある“注意書き”表示をよく読む。
- ・たくさんの花火に一度に火をつけない。
- ・子どもだけで遊ばせない。
- ・バケツに水を用意する。

6 (交通事故)

- ・道路は必ず左右を確認してから渡る。
- ・ボール遊びはスペースの広い公園などで行う。

7 (交通事故)

- ・車の交通が激しいところでは乗らない。
- ・必ず保護者がいるところで遊ぶ。
- ・交通ルールをしっかりと教える。
- ・自転車に乗る際にヘルメットを着用するのが望ましい。

8 (交通事故)

- ・道を歩く時は必ず手をつなぎ、子どもは道路の外側を歩かせる。
- ・道路を渡るときは必ず横断歩道を渡る。

おわりに

今回の健診月齢別、年齢別の安全チェックリスト

この作成および指導項目の検討により、効果的な事故防止の保健指導が可能になるものと思われる。

文献

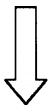
1) American Academy of Pediatrics: "Guideline for health supervision" and "The injury prevention program", 1985.

伊藤助雄, 因京子, 伊藤雄平 (共訳) : 小児の健康管理読本, 日本小児医事出版社, 1986.

2) 田中哲郎他 : 乳幼児の事故防止プログラムの試案作成, 平成2年度厚生省心身障害研究「地域・家庭環境の小児に対する影響などに関する研究」, 149-162, 平成3年.

3) 田中哲郎, 牧野 尚, 宮沢博夫, 青木龍哉 : 保護者の安全チェックリストの回答状況よりみた対策ポイントに関する検討, 平成5年度厚生省心身障害研究「生活環境が子どもの健康や心身の発達におよぼす影響に関する研究」, 132-136, 平成6年.

4) 清水美登里, 梅田 勝, 竜田登代美 : 小児の事故防止のための保健指導の試み—保健所における健診の場を利用して—, 日本医事新報, 3566, 48-53, 平成4年.



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:安全チェックリストを使用した事故防止指導が検討の結果有用であることがすでに明らかにされている。わが国で作成された安全チェックリストは乳児用、幼児用の2種類であったが、事故防止効果を更に上げるためには健診毎に繰り返し指導する必要があると考えられるため、健診スケジュールに合った安全チェックリストを検討し、試案を作成した。また、安全チェックの項目毎に指導の際のポイントについても検討を行った。今回作成した安全チェックリストにより健診毎に安全チェックリストを使用し、小児の事故防止のための指導が可能となった。